〔事業者の理念・方針、期待する職員像：小規模保育事業〕

1	理念・方針（関連　カテゴリー１　リーダーシップと意思決定）
	事業者が大切にしている考え（事業者の理念・ビジョン・使命など）のうち、 特に重要なもの（上位５つ程度）を簡潔に記述 （関連　カテゴリー１　リーダーシップと意思決定）
	（理念） ・未来の希望に向かって発展・向上する明るい元気な子どもを育む。 ・心豊かなエコ環境と優しい地域社会に生き生きと共生する子どもを育む。 ・みんなを親しみ愛し、太陽のように暖かい心を持った子供を育む。 （方針） ・MIRATZでは在園児だけでなく、子育てに関わる地域の方々にも様々な情報提供・交流の場の提供を行っています。 ①子育て家庭に向けた保育園体験の実施 ②産前・子育て家庭に育児相談の場を提供 ③保育者を目指している学生への保育士体験の実施 ④福祉施設との交流の実施 （目標） ・MIRATZ六町保育園園目標 ①自分の気持ちを伝えられる子 ②意欲のある子 ③みんなと仲よく遊べる子 ・MIRATZ六町保育園が大切にしていること 『ひとり一人を大切に丁寧な保育』『すべては遊びの中から学ぶ』
2	期待する職員像（関連　カテゴリー５　職員と組織の能力向上）
	（１）職員に求めている人材像や役割
	〈見守り〉ひとりひとりの発達・個性を理解したうえで子どもたちを見守り、主体性を育む保育を展開する。 〈手を貸す〉子どもが達成感を味わえるような配慮をしたうえで手を貸し、子どもの主体性が育つ保育を展開する 〈褒め方〉子どもが褒められたことにより活動意欲や成長に繋がるような言葉かけ、関りをする。・結果だけではなく、チャレンジした過程/プロセスも褒めることを大切にする。 〈叱り方〉脅かすような言葉は使用しない・子どもにレッテルを貼らず、対応は1対1で行う。
	（２）職員に期待すること（職員に持って欲しい使命感）

	1.ねらい（保育計画）に基づいた関り/援助/環境設定から、保育の展開につなげる。 2.ねらいに対して想定とは違う行動や興味が出た場合は、その時の子どもの興味/関心をとらえ、必要な関り/援助/環境設定を行い、次の保育計画に活かす。 3.結果だけでなく，過程（プロセス）/意欲/継続したことを評価する視点を持つ。 4. 子ども一人一人に人権があることを理解/意識して、信頼のもとに、愛情をもって伝える、伝わるようにする。

〔利用者調査：小規模保育事業〕

調査対象	保育園に通っている17世帯、園児18人に対して調査を行った。同一保育園に2名以上の園児を預けている場合には、年齢の一番低い園児に対して回答して頂いた。
調査方法	保護者にはウェブ調査回答用URLおよびQRコード、IDを配付して、回答をウェブ上で収集した。外国語世帯のみ調査票の直接郵送にて回収した。結果は選択式・自由記述式ともに園に報告し、自由意見には回答者の匿名性に配慮した処理を適宜行った。

利用者総数	18
利用者家族総数（世帯）	17
共通評価項目による調査対象者数	17
共通評価項目による調査の有効回答者数	17
利用者総数に対する回答者割合（%）	100.0

利用者調査全体のコメント

総合的な感想として園に対する満足度は、「大変満足」47.1%、「満足」47.1%の計94.1%であった。

自由意見では、「家ではなかなかできないような遊びや、学びを取り入れてくださりありがとうございます」「担当制保育なので、困っている事、成長など共感してくれ、月齢よりも子どもをちゃんと見てアドバイスもしてくれます」「とても本人にも合っていて伸び伸びと成長しているので、親としてはとても嬉しい限りです」など、子どもや保護者への配慮など職員の対応、日常の保育などに対する感謝の声が寄せられている。向上または検討を望む意見としては、保護者とのコミュニケーションに関することや保育内容、職員の子どもや保護者への対応、設備に関することなど、回答者個々の考え方や気になる点が寄せられている。設問別では、「心身の発達」「興味や関心」「食事」「安全対策」「信頼関係」「整理整頓」「接遇」「病気やけが」「気持ちの尊重」「プライバシーの保護」「保育内容の説明」などの17問中11問が80%以上の支持を得ている。それ以外の設問は50%台前半～70%台後半の支持を得ている。

利用者調査結果

共通評価項目	実数			
コメント	はい	どちらともいえない	いいえ	無回答非該当
1. 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか	17	0	0	0
「はい」の回答は100.0%であった。 自由意見では、特に参考になるような意見は寄せられていなかった。				
2. 保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか	17	0	0	0
「はい」の回答は100.0%であった。 自由意見では、「子どもの興味があるものに対して色々な工夫をし、制作物など用意をして下さっている」という声が寄せられていた。				

共通評価項目	実数			
コメント	はい	どちらともいえない	いいえ	無回答 非該当
3. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	16	0	1	0
「はい」の回答は94.1%、「いいえ」の回答は5.9%であった。 自由意見では、「給食の試食会の時に試食をしたらとても美味しかったのと、又、気になったので伺うとレシピまで教えていただけました」という声が寄せられていた。				
4. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	13	1	3	0
「はい」の回答は76.5%、「どちらともいえない」の回答は5.9%、「いいえ」の回答は17.6%であった。 自由意見では、「園庭がないので、活動は限られてしまうのは仕方がないと思います」という声が寄せられていた。				
5. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	13	3	1	0
「はい」の回答は76.5%、「どちらともいえない」の回答は17.6%、「いいえ」の回答は5.9%であった。 自由意見では、「数分程度の遅れなら電話すると、快く受けてくださる」「利用時間を変更した事が今の所無いのでどちらともいえないに回答させていただきました」という声が寄せられていた。				
6. 安全対策が十分取られていると思うか	17	0	0	0
「はい」の回答は100.0%であった。 自由意見では、「入り口にも柵が付けられて安心をしております」という声が寄せられていた。				
7. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	12	5	0	0
「はい」の回答は70.6%、「どちらともいえない」の回答は29.4%であった。 自由意見では、「面談の日程などは前もってこちらの予定を確認していただけるので、助かります」という声が寄せられていた。				
8. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	15	1	1	0
「はい」の回答は88.2%、「どちらともいえない」の回答は5.9%、「いいえ」の回答は5.9%であった。 自由意見では、「いつもご相談させてもらっています」という声が寄せられていた。				
9. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	17	0	0	0
「はい」の回答は100.0%であった。 自由意見では、特に参考になるような意見は寄せられていなかった。				
10. 職員の接遇・態度は適切か	16	1	0	0
「はい」の回答は94.1%、「どちらともいえない」の回答は5.9%であった。 自由意見では、「今もなおマスクを着けていたりと、先生の配慮が伺えます」という声が寄せられていた。				

共通評価項目	実数			
コメント	はい	どちらともいえない	いいえ	無回答非該当
11. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	15	2	0	0
「はい」の回答は88.2%、「どちらともいえない」の回答は11.8%であった。 自由意見では、「すぐご連絡をいただいております」という声が寄せられていた。				
12. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	9	8	0	0
「はい」の回答は52.9%、「どちらともいえない」の回答は47.1%であった。 自由意見では、「今の所、いさかいやいじめは無いのでどちらともいえないに回答させていただきました」という声が寄せられていた。				
13. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	16	1	0	0
「はい」の回答は94.1%、「どちらともいえない」の回答は5.9%であった。 自由意見では、特に参考になるような意見は寄せられていなかった。				
14. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	14	3	0	0
「はい」の回答は82.4%、「どちらともいえない」の回答は17.6%であった。 自由意見では、特に参考になるような意見は寄せられていなかった。				
15. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	16	1	0	0
「はい」の回答は94.1%、「どちらともいえない」の回答は5.9%であった。 自由意見では、「時々、お迎え時の今日の様子が特にない時があるのは少し残念です。クラス担当の人はよく教えてくださって助かります」という声が寄せられていた。				
16. 利用者の不満や要望は対応されているか	9	8	0	0
「はい」の回答は52.9%、「どちらともいえない」の回答は47.1%であった。 自由意見では、「特に口に出すほどの不満はないです」という声が寄せられていた。				
17. 外部の苦情窓口（行政や第三者委員等）にも相談できることを伝えられているか	11	6	0	0
「はい」の回答は64.7%、「どちらともいえない」の回答は35.3%であった。 自由意見では、「会社の同僚に聞いて役所に相談しました。相談できることを知らなかった。」という声が寄せられていた。				

〔組織マネジメント：小規模保育事業〕

Ⅰ 組織マネジメント項目（カテゴリー１～５、７）

No	共通評価項目
1	カテゴリー１
	リーダーシップと意思決定
	サブカテゴリー１（１－１）
	事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている　サブカテゴリー毎の　7/7 標準項目実施状況

評価項目１
事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）を周知している　評点（〇〇）

評価	標準項目	
◉あり 〇なし	1. 事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている	〇非該当
◉あり 〇なし	2. 事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている	〇非該当

評価項目２
経営層（運営管理者含む）は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事務所をリードしている　評点（〇〇）

評価	標準項目	
◉あり 〇なし	1. 経営層は、事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）の実現に向けて、自らの役割と責任を職員に伝えている	〇非該当
◉あり 〇なし	2. 経営層は、事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）の実現に向けて、自らの役割と責任に基づいて職員が取り組むべき方向性を提示し、リーダーシップを発揮している	〇非該当

評価項目３
重要な案件について、経営層（運営管理者含む）は実情を踏まえて
意思決定し、その内容を関係者に周知している　評点（〇〇〇）

評価	標準項目	
◉あり 〇なし	1. 重要な案件の検討や決定の手順があらかじめ決まっている	〇非該当
◉あり 〇なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している	〇非該当
◉あり 〇なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている	〇非該当

カテゴリー１の講評

保育園の理念と目標の実現に向けた情報発信と共有の取組が行われている

事業所が目指す目標の実現に向けて、入園希望者への受け入れとともに、入園ガイド・園のしおりを発行し、保育理念を示している。さらに、園のポスターやホームページ、Facebookを通じて、さまざまな情報を発信している。
園の目標と保育目標は、園のしおりに掲載され、入園時に説明している。また、年に2回開催される運営委員会や保護者会でもこれらの目標について説明している。これらの情報は、玄関や園内にも分かりやすく掲示されている。このように、我々は情報の透明性とアクセシビリティを重視している。

保育のビジョンと目標に向け、全体的な計画から個々の成長を促進させている

職員への理念と目標の周知は、年度初めに「保育の内容に関する全体的な計画」を全職員に配布することで行われている。また、年に3回開催される職員面談では、職員の目標を確認している。経営層は、法人の既存園の園長会、主任会議、保育力向上リーダーの各会議に参加し、自身の役割について情報を交換し、発表している。これにより、自園

での活動をフィードバックし、改善を図っている。さらに、保育力向上リーダー、主任、園長による保育内容の見直しは、都度行われている。これにより、我々の保育は常に最高の状態を保つことができる。

園長のリーダーシップと全職員の参画による進捗管理と保護者への情報共有を行っている

経営層の意志決定は、園長の判断を基に、代表や本部への報告と相談を経て実施している。運営委員会では保護者から直接意見を聞き、職員からの意見も参考にしている。これらの意見は、配布物や懇談会を通じて保護者に定期的に周知されている。決定事項の周知は、各会議や昼礼などで経緯が伝えられ、改善の検討も行われている。保護者に対しては、お知らせや園だよりを通じて定期的に情報を提供している。特に重要な案件については、保護者一人一人に直接声をかけることも行っている。

2

カテゴリー2

事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行

サブカテゴリー1（2－1）

事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している　　サブカテゴリー毎の標準項目実施状況　6／6

評価項目1

事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している　　評点（○○○○○○）

評価	標準項目	
◉あり ○なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している	○非該当
◉あり ○なし	2. 事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している	○非該当
◉あり ○なし	3. 地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している	○非該当
◉あり ○なし	4. 福祉事業全体の動向（行政や業界などの動き）について情報を収集し、課題やニーズを把握している	○非該当
◉あり ○なし	5. 事業所の経営状況を把握・検討している	○非該当
◉あり ○なし	6. 把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している	○非該当

サブカテゴリー2（2－2）

実践的な計画策定に取り組んでいる　　サブカテゴリー毎の標準項目実施状況　5／5

評価項目1

事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）の実現に向けた中・長期計画及び単年度計画を策定している　　評点（○○○）

評価	標準項目	
◉あり ○なし	1. 課題をふまえ、事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）の実現に向けた中・長期計画を策定している	○非該当
◉あり ○なし	2. 中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している	○非該当
◉あり ○なし	3. 策定している計画に合わせた予算編成を行っている	○非該当

評価項目2

着実な計画の実行に取り組んでいる　　評点（○○）

評価	標準項目	
◉あり ○なし	1. 事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）の実現に向けた、計画の推進方法（体制、職員の役割や活動内容など）、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している	○非該当
◉あり ○なし	2. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し（半期・月単位など）、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	○非該当

カテゴリー２の講評

利用者と職員の意向把握に対する包括的なアプローチが行われている

利用者の意向については、送迎時の会話や連絡帳・保護者個人面談などを通じて把握している。また、行事終了後にはアンケートを行い、利用者の希望や意向・苦情などの内容を分析して園の共通認識にするとともに、園だよりと共に月に一回アンケート用紙を配付し、利用者のコメントに対し園長がその都度返事を返す。また、年度末には一年間の評価をアンケートで配布、集計し利用者にも結果を公表している。事業所運営に対する職員の意向を把握の面では、年３回の職員面談で行っている。その際は、職員問題経過報告、問題が表面化した場合は、園長が記録として残すことで、自己評価表やキャリアビジョンシートの関連性を保っている。

昨年度の反省を踏まえた保育事業の中長期計画を策定している

区の保育事業に関する中長期計画として、昨年度の反省を踏まえ、2023年度を目標に「中期事業計画」が策定されている。この計画により、園として目指すべき方向性が明確化され、目標達成のための進行方向、課題の特定、改善策の発見が容易になった。また、改善策を全職員で共有することが容易になり、これが当園の強みとなっている。さらに、今年度策定した「職務分担表」の共有により、担当職員の役割が明確化され、自主的に行動する職員が増えている。各リーダーの活動や研修による保育力の向上など、諸計画の推進に向けた活動も行われている。

地域レベルでの情報把握と分析による保育・福祉の質の向上に取り組んでいる

地域レベルや福祉・保育全般に関する情報の把握と分析については、行政の園長会や小規模保育園連絡会から情報を収集し、業界誌の学習も実施している。特に、行政からのメールや行政主催の会議の情報は、園長が自ら詳細に分析し、保育の運営に活用している。また、区の保育の質ガイドラインは、園の保育の振り返りと自己評価に役立てており、独自の取組を広げ、オリジナルのチェックシートも活用している。

3

カテゴリー３

経営における社会的責任

サブカテゴリー１（３－１）

社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる　　サブカテゴリー毎の標準項目実施状況　2/2

評価項目１
社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知し、遵守されるよう取り組んでいる　　評点（○○）

評価	標準項目	
◉あり ○なし	1. 全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理（個人の尊厳を含む）などを周知し、理解が深まるように取り組んでいる	○非該当
◉あり ○なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理（個人の尊厳を含む）などが遵守されるように取り組み、定期的に確認している。	○非該当

サブカテゴリー２（３－２）

利用者の権利擁護のために、組織的な取り組みを行っている　　サブカテゴリー毎の標準項目実施状況　4/4

評価項目１
利用者の意向（意見・要望・苦情）を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている　　評点（○○）

評価	標準項目	
◉あり ○なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている	○非該当
◉あり ○なし	2. 利用者の意向（意見・要望・苦情）に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある	○非該当

評価項目２

虐待に対し組織的な防振対策と対応している　評点（○○）

評価	標準項目	
◉あり ○なし	1. 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している	○非該当
◉あり ○なし	2. 虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている	○非該当

サブカテゴリー３（３－３）

地域の福祉に役立つ取り組みを行っている　サブカテゴリー毎の標準項目実施状況　5／5

評価項目１
透明性を高め、地域との関係づくりに向けて取り組んでいる　評点（○○）

評価	標準項目	
◉あり ○なし	1. 透明性を高めるために、事業所の活動内容を開示するなど開かれた組織となるよう取り組んでいる	○非該当
◉あり ○なし	2. ボランティア、実習生及び見学・体験する小・中学生などの受け入れ体制を整備している	○非該当

評価項目２
地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている　評点（○○○）

評価	標準項目	
◉あり ○なし	1. 地域の福祉ニーズにもとづき、事業所の機能や専門性をいかした地域貢献の取り組みをしている	○非該当
◉あり ○なし	2. 事業所が地域の一員としての役割を果たすため、地域関係機関のネットワーク（事業者連絡会、施設長会など）に参画している	○非該当
◉あり ○なし	3. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働できる体制を整えて、取り組んでいる	○非該当

カテゴリー３の講評

透明性の高い組織運営と子どもの権利尊重に向けた保育園の取組が行われている

守るべき法律、規範、倫理等については、法人の運営規則、個人情報保護制度、守秘義務規程、服務規程等が制定されている。透明性を確保するための組織運営として、法人の園長会や監査制度が設けられており、当保育園は福祉サービスの第三者評価を既に実施し、その結果を公表している。また、昨年度からは、保育の質ガイドラインを活用し、子どもの権利の尊重について自己チェックと反省を行っている。職員は日常の言動を相互に振り返り、人権に関する研修にも参加している。地域とのつながりを深めることで、利用者から選ばれる保育園となるための今後の取組に期待したい。

苦情解決制度の透明性、保護者への情報周知、そして地域性の影響を考えている

利用者の意見や要望・苦情の把握の窓口の案内については、受付担当者、解決責任者を園のしおりや園の玄関に明記しており、苦情解決制度第三者委員者についても知らせている。保護者の第三者委員の認知度の調査結果として、職員アンケートでの自己評価は高く、利用者の64.7%も「知っている」と答えていた。地域性という課題はあるが、保護者への情報周知の面で、より一層の拡大に向けた検討が望まれる。利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないように、職員会議で振り返りが行われている。

保育の専門性を活かした地域との深化に向けて取り組んでいる

当保育園では、保育の専門性を活かした地域子育て支援事業「保育所体験」「育児相談」「絵の具あそび」が行われている。募集ポスターや実施記録簿を作成しながら積極的に取り組む園の姿勢は、地域とのつながりを深め、より利用者から“選ばれる保育園”として評価できる。地域の福祉ニーズをより理解し続けることで、最大の成果に期待したい。当園のボランティア活動としては、中学生の職場体験や高校生の職場体験が実施されている。受け入れ体制は整備されており、個人情報保護の説明もその都度に行っている。

4　カテゴリー４

リスクマネジメント

サブカテゴリー１（４－１）

リスクマネジメントに計画的に取り組んでいる　　サブカテゴリー毎の標準項目実施状況　5/5

評価項目１
事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる　　評点（○○○○○）

評価	標準項目	
◉あり ○なし	1. 事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク（事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など）を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている	○非該当
◉あり ○なし	2. 優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている	○非該当
◉あり ○なし	3. 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画（ＢＣＰ）を策定している	○非該当
◉あり ○なし	4. リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる	○非該当
◉あり ○なし	5. 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる	○非該当

サブカテゴリー２（４－２）

事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている　　サブカテゴリー毎の標準項目実施状況　4/4

評価項目１
事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている　　評点（○○○○）

評価	標準項目	
◉あり ○なし	1. 情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員（実習生やボランティアを含む）が理解し遵守するための取り組みを行っている	○非該当
◉あり ○なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・管理している	○非該当
◉あり ○なし	3. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている	○非該当
◉あり ○なし	4. 事業所で扱っている個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整備している	○非該当

カテゴリー4の講評

緊急時対応マニュアルの活用とヒヤリハット事例に基づく予防策の検討が行われている

園では、災害や事故への備えとして緊急時対応マニュアルに沿った訓練が行われ、報告しやすい工夫がなされ、組織的にリスクをマネジメントできる力を持っている。ヒヤリハット事例を活用して予防に向けて積極的に話し合い、環境構成を検討して再発の防止につながるようにするなど、リスク軽減に向けて職員の共通理解が得られる工夫を行っている。また、防犯カメラの設置によって、午睡時の睡眠チェックの様子や保育室の様子の記録を行うなど、保育の中でリスクをマネジメントできるようにもしている。

保育園における災害対策として事業継続計画(BCP)の策定への取組が期待される

大規模災害を想定した訓練やSIDS対策の見直しなど、災害時や事故への対応について対策を講じている。地震の想定被害に加えて避難場所で過ごすなど被害状況に変化を持たせたり、備蓄品は避難場所の園児と全職員の必要日数分を備蓄したりするなど、非常時への対応に関する対策を積極的に講じている。一斉配信システムを使用して家庭での防災の取組みを啓発するなども行い、保護者への防災意識向上に向けて、年１回引き取り訓練を行っている。
今後はこれらの諸計画を統合した事業継続計画(BCP)の策定の取組取に期待している。

個人情報保護規程の整備、情報の伝達と共有、アクセス制限の設定が行われている

個人情報保護規程が整備され、実習生、ボランティアの受け入れ時オリエンテーションでの説明や、承諾書にて周知

徹底が図られており、保護者には重要事項説明に明記して入園説明会で説明して理解を得ている。今回の保護者アンケートでも、全保護者が理解しています。また、園内にパソコンを配備し、情報の管理と記録など、業務の効率化と、防犯カメラの設置による子どもの情報や機密重要情報管理が格納され、パスワード設定によるアクセス制限を掛けて情報漏洩も防止している。

5

カテゴリー5

職員と組織の能力向上

サブカテゴリー1（5－1）

事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成・定着に取り組んでいる

サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 10/12

評価項目1

事業所が目指していることの実現に必要な人材構成にしている　評点（○○）

評価	標準項目	
◉あり ○なし	1. 事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している	○非該当
◉あり ○なし	2. 事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に取り組んでいる	○非該当

評価項目2

事業所の求める人材像に基づき人材育成計画を策定している　評点（◉◉）

評価	標準項目	
○あり ◉なし	1. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望（キャリアパス）が職員に分かりやすく周知されている	○非該当
○あり ◉なし	2. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望（キャリアパス）と連動した事業所の人材育成計画を策定している	○非該当

評価項目3

事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる　評点（○○○○）

評価	標準項目	
◉あり ○なし	1. 勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している	○非該当
◉あり ○なし	2. 職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成（研修）計画を策定している	○非該当
◉あり ○なし	3. 職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成（研修）計画へ反映している	○非該当
◉あり ○なし	4. 指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう組織的に支援を行っている	○非該当

評価項目4

職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる　評点（○○○○）

評価	標準項目	
◉あり ○なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と処遇（賃金、昇進・昇格等）・称賛などを連動させている	○非該当
◉あり ○なし	2. 就業状況（勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど）を把握し、安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいる	○非該当
◉あり ○なし	3. 職員の意識を把握し、意欲と働きがいの向上に取り組んでいる	○非該当
◉あり ○なし	4. 職員間の良好な人間関係構築のための取り組みを行っている	○非該当

サブカテゴリー2（5－2）

組織力の向上に取り組んでいる

サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 3/3

評価項目１

組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる　　評点（〇〇〇）

評価	標準項目	
◉あり 〇なし	1. 職員一人ひとりが学んだ研修内容を、レポートや発表等を通じて共有化している	〇非該当
◉あり 〇なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に活かす仕組みを設けている	〇非該当
◉あり 〇なし	3. 目標達成や課題解決に向けて、チームでの活動が効果的に進むよう取り組んでいる	〇非該当

カテゴリー５の講評

職員育成の取組と自己評価の仕組みによる能力向上が行われている

園は「みんなを親しみ愛し、太陽のような暖かい心を持った子どもを育む」を大切にした保育を行っている。この考えを職員育成にも展開し、職員自ら主体的に協力し合い互いに高め合えるようにしている。特に、園が独自に作成、運用している保育の自己評価を行う仕組みが、職員の能力向上に大きく寄与している。園長は「キャリアビジョンシート」に目標を明示、また、職員各自が「年度目標」、「自分の強み弱みを活かした取組み」を作成して、園長が３ケ月に一度、その達成状況の確認と意向の把握など、職員の能力の向上と目標の達成を導いている。

地域社会主催の研修、職員の希望と育成の考慮、そして研修内容の共有が行われている

多くの研修受講の機会があり、種類として法人グループで企画する地域貢献活動リーダー・保育力向上リーダー・調理室向上リーダー・本部・園長・主任の各研修があり、地域社会主催として区が開催する年齢別担任研修、発達障害保育・食育・アレルギー対応・保健衛生などのテーマ別研修、３歳児未満保育者研修など豊富にあり、職員の希望や育成も考慮して派遣をしている。研修内容は職員会議で報告され、報告書は掲示されて既読印とともに感想がポストイットで貼り出されて共有されている。

「私の提案」シートの活用、園長による一人一人の把握と成果の認職を果たしている

当園では組織力の強化に繋がる職員の主体的な学びへの支援として、園独自の「私の提案」シートによる気付きや工夫の提案が行われている。職員の意欲向上策としては、区のシステムに則ったマネジメントが行われており、ストレスチェックなど区の担当部課でも相談に応じる体制が整っている。また、園長は常に職員とのコミュニケーションを図りながら一人ひとりを把握しており、良い点を見いだして成果を認め、意欲に繋がるようにしている。これは、職員の意欲向上に最も貢献している園の取り組みである。

7

カテゴリー７

事業所の重要課題に対する組織的な活動

サブカテゴリー１（７－１）

事業所の重要課題に対して、目標設定・取り組み・結果の検証・次期の事業活動等への反映を行っている

評価項目１

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている（その１）

前年度の重要課題に対する組織的な活動（評価機関によるまとめ）

昨年度はより丁寧な保育を重点課題と捉え、重点目標に担当制保育の定着を掲げている。昨年度の重点施策として、保育環境の改善に取り組んでいる。その結果、重点目標に掲げたことが60%達成できた。その原因として考えられることは、目標設定や取組などのプロセスで改善すべき点として、1・2歳児の保育室のレイアウトに関してはかなりの改善が必要だと感じた。クラスごとの遊びの改善は進みつつあることを明らかにしている。こうした一連の取組を検証し、今年度に向けて、課題であったコーナーごとの遊びのレイアウトに関しては完成形に近づいた。「子どもたちが遊びに集中できる環境」の一点を目標にしたことで目指すべき事項があきらかになった。環境・年齢・子どもたちの育ちにあった玩具の種類/玩具の数を見極めより充実した遊びが展開できるようにする取組に発展させている。

目標の設定と取り組み	◉具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った 〇具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった 〇具体的な目標が設定されていなかった

	取り組みの検証	◉目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った ○目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった（目標設定を行っていなかった場合も含む） ○設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
	検証結果の反映	◉次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた ○次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない ○設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
	評価項目１で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評	
	重点目標に担当制保育の定着を掲げ、重点施策として保育環境の改善に取り組んだ結果、重点目標に掲げたことが60%達成できたことは評価できる。また、1・2歳児の保育室のレイアウトに関してはかなりの改善が必要だと感じた。クラスごとの遊びの改善は進みつつあることを明らかにしているが、60%の達成状況にとどまった評価反省はできているが、要因は何なのかを追求してほしい。そして、検証し、今年度以降に向けて、担当制保育の環境充実に向けて、適切な環境設定として素材や道具を子どもが手に取れる場所に配置したり、個々のペースで取り組めるよう、製作と別の遊びの空間を分けたりするなど、子どもの動きをイメージしながら事前にできる配慮を行うこと、担当制保育の導入では、それぞれの子どもに対して決まった保育士が身の回りのお世話を担当する制度として、愛着が育まれやすい信頼関係が期待される。	
	評価項目２ 事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている（その２）	
	前年度の重要課題に対する組織的な活動（評価機関によるまとめ）	
	昨年度は組織の見直し・人材育成を重点課題と捉え、重点目標に職務・職責を明確にすることを掲げている。昨年度の重点施策として、職務分担表の作成に取り組んでいる。その結果、重点目標に掲げたことが 40%達成できた。その原因として考えられることは、目標設定や取組などのプロセスで改善すべき点として、職務職責表を作成して全職員への配布ができていなかった。こうした一連の取組を検証し、今年度に向けて、より詳しい「職務分担表」の作成をする。職員ひとり一人に責任のある業務を係として割り当てた。60%くらいの達成率になった。しかし仕事の量の偏りの解消までには至っていない。個々の自覚、周りを思いやる気持ちの育成に拡げた取組に発展させている。	
	目標の設定と取り組み	◉具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った ○具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった ○具体的な目標が設定されていなかった
	取り組みの検証	◉目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った ○目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった（目標設定を行っていなかった場合も含む） ○設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
	検証結果の反映	◉次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた ○次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない ○設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
	評価項目２で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評	
	昨年度は重点目標に職務・職責を明確にすることを掲げ、職務分担表の作成に取り組んだ結果、目標に掲げたことが 40%達成できたことは評価できる。一連の取組を検証し、今年度に向けて、より詳しい「職務分担表」の作成をすることが明らかになったことは評価される。今後に向けて期待している	

〔サービス分析：小規模保育事業〕

Ⅱ　サービス提供のプロセス項目（カテゴリー６-１～３、６－５～６）

No	共通評価項目
1	サブカテゴリー１

サービス情報の提供　　サブカテゴリー毎の標準項目実施状況　4 /4

評価項目１
利用希望者等に対してサービスの情報を提供している　　評点（○○○○）

評価	標準項目	
◉あり ○なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している	○非該当
◉あり ○なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものにしている	○非該当
◉あり ○なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している	○非該当
◉あり ○なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している	○非該当

サブカテゴリー１の講評

利用希望者が保育園の情報を入手しやすく、区のサイトからもリンクが行われている
利用希望者への情報提供の面では、法人のホームページに見られ、区の入園案内のもと入園後の園との関係性の構築に寄与させている。具体的には、園の理念や方針、目標、保育が具体的かつ丁寧に説明され、保育内容も明確に掲載されており、利用者は園選択の参考にできる内容としている。また、入園ガイドを郵送時施設見学、保育体験のお誘いをすることで、利用希望者が自分の子どもにとって相応しい園かどうか判断する材料にしている。会社のホームページやfacebookでMIRATZ全園を紹介し、本園利用時の保護者の安心材料にも繋がっている。

利用希望者の理解促進に役立つよう園紹介ポスターやホームページが工夫されている
事業所の情報を行政や関係機関などへの提供の面では、地域の様々な人たちの目に止まるよう、園の玄関にポスターを掲示、委託医クリニックや、歯科医、産婦人科など協力頂き掲示している。特にポスターのデザイン性が良く、強調したいところは写真、文字の大きさや色にも配慮した園の特徴を鮮やかに紹介している。また、園のホームページもポスターと同様に、検索してきた利用希望者が求めたい情報を手軽に入手できる構成にして工夫がされている。電話やメール等を通じて利用希望者の疑問に回答する仕組みも整っており、当園の情報発信の上手さも実感できる。

2	サブカテゴリー２

サービスの開始・終了時の対応　　サブカテゴリー毎の標準項目実施状況　6/6

評価項目１
サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている　　評点（○○○）

評価	標準項目	
◉あり ○なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している	○非該当
◉あり ○なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている	○非該当
◉あり ○なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している	○非該当

評価項目２
サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている　　評点（○○○）

評価	標準項目	
◉あり ○なし	1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	○非該当
◉あり ○なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している	○非該当

	◉あり ○なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている	○非該当

サブカテゴリー２の講評

入園説明会において重要事項説明と利用契約を行い保護者の同意を得ている
新入園児に対して入園説明会を実施し、説明内容に対しての承諾書と利用契約の同意を得ている。保護者記入の児童票をもとに子どもの状況や保護者の就労状況のなどについて個人面接を行っている。保護者の利用に際しての希望や保育園に対する要望などは一覧表にまとめてホワイトボードに記載すると同時に面接表に記入し、クラス担任が把握管理している。子どもと保護者の状況については全職員で確認・共有している。

慣れ保育を実施し最初の5日間は保護者の状況に応じて一緒に過ごす時間を設けている
慣れ保育を実施し最初の5日間は保護者の状況に応じて一緒に保育園の生活を体験する期間を設けている。保護者の食事介助を見ながら一人一人の合わせた食事介助ができるように取り組んでいる。子どもの好みや離乳食の形態などを把握し家庭との連携が取れるように進めている。子どもの状況と保護者の就労状況に応じて慣れ保育の期間を調整している。SIDSについて保護者に説明しうつ伏せ寝の禁止と睡眠チェックを行い、家庭での注意点を伝えている。慣れ保育期間中に保護者とのコミュニケーションをとり不安なく園生活が送れるように配慮している。

転園については必要に応じて転園先の保育園との連携がとれるように配慮している
転園時は必要な書類は返還している。転園後に予想される子どもの状況について保護者が理解できるように丁寧に伝えている。発達相談に関わっている場合は子ども家庭支援センターや転園先の保育園と連携して対応している。保護者には引き続き支援ができることや育児曹相談の機会があることを伝え、保護者の転園に対する不安がないように配慮している。転園に対しては入園時に伝え区と連携が取れるようになっている。

3

サブカテゴリー３

個別状況の記録と計画策定　　サブカテゴリー毎の標準項目実施状況　12/12

評価項目１
定められた手順に従ってアセスメント（情報収集、分析および課題設定）を行い、
子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している　　評点（○○○）

評価	標準項目	
◉あり ○なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	○非該当
◉あり ○なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	○非該当
◉あり ○なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	○非該当

評価項目２
全体的な計画や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している　　評点（○○○○○）

評価	標準項目	
◉あり ○なし	1. 指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護（生命の保持・情緒の安定）と教育（健康・人間関係・環境・言葉・表現）の各領域を考慮して作成している	○非該当
◉あり ○なし	2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、保育の過程を踏まえて、作成、見直しをしている	○非該当
◉あり ○なし	3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況（年齢・発達の状況など）に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている	○非該当
◉あり ○なし	4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している	○非該当
◉あり ○なし	5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定めたうえで、必要に応じて見直している	○非該当

評価項目３
子どもに関する記録を適切に作成する体制を確立している　　評点（○○）

評価	標準項目	
◉あり ○なし	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある	○非該当
◉あり ○なし	2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	○非該当

評価項目 4
子どもの状況等に関する情報を職員間で共有している　評点（○○○）

評価	標準項目	
◉あり ○なし	1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している	○非該当
◉あり ○なし	2. 子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報について、職員間で申し送り・引継ぎ等を行っている	○非該当
◉あり ○なし	3. 子ども一人ひとりに対する理解を深めるため、事例を持ち寄る等、話し合う機会を設けている	○非該当

サブカテゴリー３の講評

全体的な計画を作成し、年間・月間・週日案・個人別指導計画を作成している
全体的な計画を作成し各クラスで年間指導計画・月間指導計画・週日案・個人別指導計画を作成している。担当保育士は保育の中で育児にあたる部分については担当し、成長記録の内容やそれを基にした指導の目安を決めることで、一人一人の指導計画を立案している。個別の計画については担当保育士が保護者とのやり取りや子どもの育ちを踏まえて作成している。全体的な計画や0歳児の年間計画は三つの視点を大切にして計画立案している。子ども一人一人の状況を把握し、統一した様式に記録をして共有を図っている

保護者には毎月の園だよりでクラスの目標を明記して伝えている
保護者には月間指導計画について毎月の園だよりで伝え、一人一人の個別指導計画については送迎時の保護者とのコミュニケーションや個人面談で伝えている。毎月の園だよりにはクラスの目標以外に保育の内容や遊びの姿、わらべうたや手あそびなどについても掲載して保護者が保育園の様子が分かりやすく理解が深まるように努めている。子どもの様子については毎日に連絡ノートに記載し保護者に伝えている。担当制保育については保護者に伝え、理解が得られている。

月案・個人案として指導計画を作成し、クラス会議・職員会議で評価反省をしている
月案・個人案は子どもの姿・個人のねらい・個別配慮・評価反省を記録している。月1回クラス会議を実施し一人一人の子どもの状況について話し合いが行われている。月1回職員会議を行い全職員で子どもの状況については周知し確認・共有している。緊急な報告は毎日実施している昼礼で行っている。気になる子どもに対してはアセスメントシートを作成し子どもの様子と成長の姿を記録し巡回相談のアドバイスを記録すると同時に職員間で子どもの状況と支援のあり方について共有している。

5

サブカテゴリー５

プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重　サブカテゴリー毎の標準項目実施状況　5/5

評価項目 1
子どものプライバシー保護を徹底している　評点（○○）

評価	標準項目	
◉あり ○なし	1. 子どもに関する情報（事項）を外部とやりとりする必要が生じた場合には、保護者の同意を得るようにしている	○非該当
◉あり ○なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている	○非該当

評価項目 2
サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している　評点（○○○）

評価	標準項目	
◉あり ○なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	○非該当
◉あり ○なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている	○非該当

◉あり ○なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	○非該当

サブカテゴリー５の講評

担当制保育を実することで生活習慣の確立をできるだけ園で取り組んでいる

担当制保育を実施することで保育園の生活習慣を家庭に求めず、園の活動の中でできることを確実に進めるように取り組んでいる。子どもの発した言葉を受けとめ一人一人を大切にした保育を実施している。保護者の悩みや困りごとをサポートできるように園全体で取り組んでいる。保護者のプライバシーを尊重した保育になっている。個人情報保護については入園時に説明し保護者の同意を得ている。虐待の疑いや養育困難な家庭が見られた場合は関係機関と連携し見守りと対応をしている。

子どもの羞恥心に配慮した保育に努めている

園舎の構造上水遊びは難しいが、裸やオムツのままで園内を移動しないように、着替えは上着を脱いだら、続けて上着をきせるように子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている。排せつは必ず1対1で行い必ず丁寧な言葉かけをしている。行動を必ず言葉にするように努め、子ども自身が理解ができ身辺の自立ができるように保育に取り組んでいる。

6

サブカテゴリー６

事業所業務の標準化　　サブカテゴリー毎の標準項目実施状況　5/5

評価項目１

手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている　評点（○○○）

評価	標準項目	
◉あり ○なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	○非該当
◉あり ○なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている	○非該当
◉あり ○なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	○非該当

評価項目２

サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている　評点（○○）

評価	標準項目	
◉あり ○なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は改変の時期や見直しの基準が定められている	○非該当
◉あり ○なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	○非該当

サブカテゴリー６の講評

当園のマニュアルや職員個人に配布するマニュアルで標準化を図っている

当園は、保育者業務や安全面、コンプライアンスなどカテゴリーをわけたマニュアルを作成している。特にお散歩マップの作成の取組として、散歩先の詳細な情報を記載することで年齢や目的を明確化し、日常的に保育士が手引きとして活用することで、子どもの安全を一層守るためのものに検討されている。また、各種会議や研修でマニュアルの読み合わせに取り組み、手順などを確認している。

園運営についての保護者アンケート結果の評価分析による次年度の改善に役立てている

日々の保育で使用する様々なチェック表は、少しずつ改善をしており、特に0歳児の睡眠チェック表を使いやすく変更している。内容については園長が確認を行っている。

また、年度末には一年間の園運営についてのアンケートを作成し保護者から評価をして頂き、内容を集計、結果を公表し、次年度の運営に活かしている。

職員用のマニュアル配布や研修、会議などで業務の一定水準を守っている

	保育の基本事項や手順など、サービスを一定水準に保つため、変更事項や計画などを職員会議や連絡などで全職員に周知している。また、保健衛生の手順書や職員マニュアルなどを配布して、一定水準の保育が提供できるようにしている。また、一定水準の知識や技術を身につけるために、研修に参加し、その知識や技術を報告書や会議での報告により、全職員が共有できるようにしている。会議に出席できない職員は。報告書などを読んで、新しい知識や技術を知ることができるようにしている。

Ⅲ サービスの実施項目（カテゴリー6-4）

	サブカテゴリー4		
	サービスの実施項目	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	35/35

1 評価項目1

子ども一人ひとりの発達状態に応じた保育を行っている　評点（○○○○○）

評価	標準項目	
◉あり ○なし	1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている	○非該当
◉あり ○なし	2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけることができるよう、環境を工夫している	○非該当
◉あり ○なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している	○非該当
◉あり ○なし	4. 特別な配慮が必要な子ども（障害のある子どもを含む）の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している	○非該当
◉あり ○なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル（けんか・かみつき等）に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている	○非該当

評価項目1の講評

毎日の保護者との会話を通して家庭の状況や子どもの特性、生活について把握している

保護者との毎日の連絡ノートのやり取りや会話を通して家庭での状況を把握して、日中の保育にあたっている。家庭の状況や子どもの特性に応じて対応の仕方を配慮して、職員間で周知することを心がけている。保育士は遊びを見守りながら子どもの状況に応じて必要な判断ができ、子どもに提供し遊びや生活が展開していくように保育の取り組みができている。担当保育士が子どもの状況に合わせて丁寧に対応することで家庭で過ごしているような心地よい活動ができるように保育実践ができている。

支援が必要な子どもに対してはアセスメントシートを作成しアドバイスを受けている

支援が必要と感じた子どもに対してはアセスメントシートをd作成し発達支援センターと連携し発達相談を依頼し臨床心理士・作業療法士のアドバイスを受け支援方法について学んでいる。支援の仕方については保育計画に記載し職員間で共有している。担当制保育を取り入れていることで一人一人の特性について理解が進み適切な対応につながっている。調理スタッフも含めて全職員がすべての子どもについて理解ができていることで一人一人の発達の姿と目標が共有できその子に応じた適切な対応ができている。

2 評価項目2

子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている　評点（○○○○）

評価	標準項目	
◉あり ○なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している	○非該当
◉あり ○なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している	○非該当
◉あり ○なし	3. 休息（昼寝を含む）の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している	○非該当
◉あり ○なし	4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている	○非該当

評価項目2の講評

育児の分野を担当保育士が対応するため自然に基本的生活習慣が身につけられている

育児と呼ばれる分野はすべて担当保育士が原則1対1で対応しているため、食事・排泄・着替えに必要な介助が行われているため適切な言葉かけのもとで自分でやりたいという気持ちが育てられ担当保育士との関わりの中で基本的生活

習慣が身につけらている。育児の時間が大切にされることで自己肯定感が育てられ、安定した生活の中で安心した園生活が送ることができている。1体1の関わりを通して遊びに夢中になり遊び込める保育になっていることで愛着関係が育てられ落ち着いた生活ができている。

一人一人の生活リズムについて保護者と連携し安定した生活が送れるように配慮している

生活リズムについては保護者からの聞き取りや連絡ノートから把握している。一人一人の状況に応じて午前寝や食事の順番や時間の配慮をしている。保育室に休憩スペースを設置し、いつでも休息ができるように対応している。園での生活の様子や睡眠、食事、排せつ、機嫌などについては連絡ノートに記載し口頭でも保護者に伝えている。

3

評価項目３

日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している　　評点（○○○○○○）

評価	標準項目	
◉あり ○なし	1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	○非該当
◉あり ○なし	2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している	○非該当
◉あり ○なし	3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉（発声や喃語を含む）や表情、身振り等による応答的なやり取りを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している	○非該当
◉あり ○なし	4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている	○非該当
◉あり ○なし	5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている	○非該当
◉あり ○なし	6. 生活や遊びを通して、子どもがきまりの大切さに気付き、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している	○非該当

評価項目３の講評

遊びのコーナー作りやマットや玩具などを通して遊び込める環境作りができている

室内では遊びによってコーナー作りやマットを工夫して環境作りをしている。遊具はできるだけ本物を与え、子どもの興味・関心や感触を大切にしている。遊ぶ場所を分かりやすくしたり自分から手にとって遊びたくなるような環境ができている。保育士との1対1のやり取りや関わりを大切にして自分に言葉をかけてもらうことで気持ちのやり取りや言葉の成長へとつなげている。保育士は行動を言葉にすることや言葉をかけるタイミングに配慮し、見守りの中で子どもが遊びに夢中になり遊び込めるように保育に取り組んでいる

わらべうた遊びを通して保育士に合わせて表現する楽しさを保育に取り入れている

大きな行事は行われていないが、保育活動の中にわらべうた遊びを取り入れ、保育士が口ずさむ歌声に合わせて自分の真似をしながら表現する楽しさを保育に活かしている。わらべうたの心地よさを一人一人が感じることでどの子も自分が大切にされていることを実感し、人との関係性が築かれるように保育に取り組んでいる。わらべうたはイラスト入りでクラスだよりや園だよりに掲載し保護者も一緒に楽しめるように工夫している。担当制保育の基本の考えとしてわらべうた遊びの良さを確認し保育活動に取り入れている。

季節の変化を感じ自然に触れる活動を通して保育力向上に取り組んでいる

季節の変化や移ろいを感じ、自然物に触れることで保育力の向上に取り組んできている。自然物を拾ったり採集してその場で作品に仕上げ持ち帰るなど保育の充実に努めている。葉っぱや土、水、氷などに触れたり、匂いを嗅いだりしながら子ども自身が感覚を通して自然物の発見や驚き、興味、関心が育てられる保育に取り組んでいる。1年を通して各クラスでいろいろな自然物に対する子どもたちの感覚や表情、行動などを写真として収録し保育のあり方について考察してきている。写真のファイルとしてのまとめは園全体の保育力の向上につながっている。

4

評価項目４

日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している　　評点（○○○）

評価	標準項目

	◉あり ○なし	1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している	○非該当
	◉あり ○なし	2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	○非該当
	◉あり ○なし	3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている	○非該当

評価項目４の講評

大きな行事は行わずに保育の中で昔ながらの行事を実施している

当園は2歳児クラスまでの保育園のため運動会や発表会など通常の保育と環境が大きく変わる行事は行っていない。保育の中で昔ながらの行事を子どもたちが楽しみながら体験が重ねられるように計画されている。日本特有の行事を大切にして0、1、2歳児なりに行事に対する理解ができるように工夫している。行事と日常の保育が関連性を大切にして、伝統的な行事が地域の行事へつなげていけるように取り組んでいる。

親子での運動遊びを目的にして「MIRATZ六町オリンピック」に取り組んでいる

「MIRATZ六町オリンピック」は0～2歳児の全クラスが運動会ごっこを行い保護者と一緒に競技に参加してもらっている。MIRATZの体操部門の講師の指導を受けて親子で楽しく運動遊びができるように工夫してきている。コロナ禍の中では各クラスごとに3日間を予定して行ってきている。オリンピック終了後は保育参加として子どもと食事の時間を過ごし、寝かしつけまで保護者が参加する仕組みになっている。

保護者の参加行事は1か月前にプリントを配布し協力依頼ができている

保護者の参加行事は事前にプリントを配布し参加の協力を依頼している。保育士体験行事は参加の保護者に目的と活動内容を伝えている。クラスごとに保育参加給食試食会をお行い、保育士体験と合わせて保育の理解につなげている。

5 評価項目５

保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている　評点（○○）

評価	標準項目	
◉あり ○なし	1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている	○非該当
◉あり ○なし	2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている	○非該当

評価項目５の講評

合同保育になる場合は1、2歳児の部屋にマットを敷きくつろげる環境作りができている

原則として合同保育は行っていないが16時半以降は0歳児も一緒にほいくがされている。1、2歳児クラスにマットを敷きくつろいだ環境作りに心がけている。小規模保育園の特徴を生かして職員全員が子どもの様子について理解を深めているため、子どもの特性や要望に応じた保育ができている。その日の職員の配置や子どもの人数、年齢を考慮して安全に保育ができるように玩具の設定や環境作りができている。

保護者が安心してお迎えができるように連絡漏れがないように十分に対処している

保護者が安心してお迎えができるように、日中の子どもの様子については連絡ノートと合わせて必ず口頭で伝えている。保護者への引き渡しに時間がかかる場合もあり、保育中の子どもの安全には十分に配慮している。必要事項を明確に伝えることができるように担任同士の連携を密に行っている。必要な場合は担任や園長、主任が話をする場合もあり保護者が不安になることがないように配慮している。

6 評価項目６

子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している　評点（○○○○○）

評価	標準項目	
◉あり ○なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	○非該当
◉あり ○なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	○非該当
◉あり ○なし	3. 子どもの体調（食物アレルギーを含む）や文化の違いに応じた食事を提供している	○非該当

	◉あり ○なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み（食材の栽培や子どもの調理活動等）を行っている	○非該当
	◉あり ○なし	5. 保護者や地域の多様な関係者との連携及び協働のもとで、食に関する取り組みを行っている	○非該当

評価項目６の講評

担当制保育を実施していることで一人一人に対してゆっくり丁寧に対応ができている

担当制保育を実施することで保育士が一人ずつゆっくり食事対応ができている。食事をする順番が決めらていることで1対での関わりの中でゆったりと楽しい雰囲気の中で食事ができている。食具の使いたや咀嚼などについては一人一人に適切で丁寧な言葉かけがなされることで、子どもが自分から食べてみようとする意欲が育てられている。栄養士が保育室を回り子どもの様子を見守りながら味付けや形態について改善点が見つけられるように努めている。行事食は子どもの意欲や興味関心を大切にして調理と保育が連携して取り組んでいる。

アレルギーのある子どもや体調による食事の対応は保護者と連携のもとで実施している

アレルギーのある子どもに対しては医師の指示書と保護者の確認のもとに除去食を提供し個別に対応している。会社全体としは卵を除去した給食を提供している。その日の体調による対応は保護者との受け入れ時のやり取りとりや連絡ノートで確認している。内容は日々のチェツクシートに記入し昼礼にて申し送りができている。離乳食の段階が上がる時は事前に保護者に見本を見てもらい確認の上で進めている。

食育活動は保育の中で子どもが興味を持って参加できる活動内容に配慮している

食育は年間食育計画に沿って年齢に合った活動を実施している。今年度は調理スタッフの手作りのきのこの木できのこ狩りを楽しみ調理では子どもたちがきのこちぎりに取り組んでいる。保育参加給食試食会を行い、保護者が給食を試食する機会を設けている。0歳児については次の段階の離乳食の試食を提供している。育児相談に参加する地域の方へ離乳食の試食提供を行っている。

7 評価項目７

子どもが心身の健康を維持できるよう援助している　評点（○○○）

評価	標準項目	
◉あり ○なし	1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している	○非該当
◉あり ○なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている	○非該当
◉あり ○なし	3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み（乳幼児突然死症候群の予防を含む）を行っている	○非該当

評価項目７の講評

0～2歳児の保育園のため保育士が子どもの安全について認識を持ち取り組んでいる

0～2歳児の保育園のため保育士自身が子どもの安全をどのように守り重大事故を防ぐかについて常時認識を持ち職員間で共有している。様々な状況を想定しての訓練を繰り返し行うことで職員一人一人がマニュアルを基本に自主的に動くことを基本にして訓練を重ねている。訓練の実施後は反省会を行い改善点を見つけ出し安全な保育を心掛けている。感染症の発症については職員間で知識の習得と予防に努めている。感染症発症については保護者に速やかに情報提供している。

保護者にSIDSについて説明し家庭での注意点を伝えている

SIDSについて保護者に家庭での注意点を伝えている。うつ伏せ寝の危険性について伝え仰向けでの睡眠の大切さを知らせている。園では0歳児はうつ伏せ寝は必ず仰向けにして睡眠中のの見守りを徹底している。入園時のストレスから発症事例も報告されているため慣れ保育はゆっくりと保護者と安心して過ごすように努めている。医療的ケア児の受け入れは実施していないが、職員間で研修の受講に参加している。

8 評価項目８

保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている　評点（○○○○○）

評価	標準項目	
◉あり ○なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている	○非該当
◉あり ○なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	○非該当
◉あり ○なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	○非該当
◉あり ○なし	4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	○非該当
◉あり ○なし	5. 保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している	○非該当

評価項目８の講評

各家庭の状況を把握し問題解決の方法について助言を行っている

各家庭の状況を把握し適切な助言ができるように研修を重ねている。園に対する信頼関係を作っていくために園の運営や決まり事については時期を逸せず明確に伝えられるように努めている。担当制保育については園の中心的な課題とそして必要に応じて保護者に伝えている。また資料も作成し保育の理解に努めている。毎月の園だよりで園が大切にしていることや園が望む子どもたちの姿を事例を用いて伝えている。

MIRATZ六町オリンピック等の行事を通して保護者交流が深めらている

MIRATZ六町オリンピック等の行事を通して保護者間のついながりができている。保育参加給食試食会ではエプロン着用で保育士体験をしてもらっている。保育士の仕事内容を知る機会になり園での子どもの姿について保護者と共有することで共育ての一助になっている。保護者が育児の大切さや楽しさを感じ、離乳食等の給食の試食で保育に対する理解が深められている。施設見学者には実際に保育の様子を見てもらうことで担当制保育について理解してもらえるように努めている。

9

評価項目９

地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている　評点（○○）

評価	標準項目	
◉あり ○なし	1. 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している	○非該当
◉あり ○なし	2. 園の行事に地域の人の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	○非該当

評価項目９の講評

地域支援活動として地域の「色あそびコラボ展」に参加し連携をとっている

地域施設との連携で「色遊びコラボ展」に参加し全園児の作品を展示することができている。色遊びコラボ展はアートでつなぐ街づくりとして作品展示を通して地域の施設が連携する機会ができている。地域貢献活動リーダーを決め、保育園の活動を通して地域の施設が交流を持ち子どもたちと地域の方のつながりを図っている。「絆の安心協力機関」に登録して子どたちの経験の場を広げている。当園は近隣の方も参加した運営委員会を設置して園の活動を知ってもらう機会にしている。

地域の子育て支援事業として離乳食教室や保育体験を行っている。

地域の子育て支援事業として育児相談、保育所体験、離乳食教室を行っている。施設見学に来た方に保育体験や育児相談を行っている。離乳食教室を開催し試食会を行うことで地域の子育て中の親子の方に期待されている。育児相談会や「体験保育を通して一緒にあそびましょう」のチラシを配布し保育園のイベントに参加できるように取り組んでいる。

〔事業者が特に力を入れている取り組み：小規模保育事業〕

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	５－１－４	職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる
タイトル①	職員の育成に努め、評価にも役立てるためスプレッドシートを活用している	
内容①	園長は園の保育として、子どもの自発的な動きや興味を引き出し、自由に遊ぶことを大切にしている。また、職員にも、遊びを中心とした保育を行えるように助言や指導をしている。育成の一環としてスプレッドシートと呼ばれる書式を使い、週ごとに取り組み、成果報告、課題を示すと同時に、自分の強みと弱みなどを自己評価している。これにより、職員の目的が明確に定まり、園の遊びを中心とした保育を自ら考え実践する様になっている。さらに、スプレッドシートは職員の個人面談やリーダーからの助言も行われている。	

令和5年度
事業所名：株式会社ＭＩＲＡＴＺ　ＭＩＲＡＴＺ六町保育園》

〔全体の評価講評：小規模保育事業〕

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	スプレッドシートを用いて保育園の運営に必要なデータを一元管理し、必要なときにすぐにアクセスしている
	内容	業務効率化として、スプレッドシートは、保育士の業務負担を軽減し、業務の効率化を図るために活用しており、週ごとに取り組み、成果報告、課題点に対し、リーダーコメントを寄せている。スプレッドシートは、リアルタイムの共同作業や情報共有を可能にするため、職員間のコミュニケーションが円滑に行える。Googleツールとの連携が可能となっている。これらの活用法は、保育園の運営を効率化し、保育士の業務負担を軽減するだけでなく、保育の質の向上にも寄与している。
2	タイトル	日誌・連絡ノート、ヒヤリハットを毎日決められた時間に提出すると同時に保育での気づきや保育者の思いが別シートに記載し提出している
	内容	週案日誌・連絡ノート・ヒヤリハットは毎日決めらた時間に提出している。同時に日々の保育の気づきなどヒヤリハットにまで至らない保育者のハッとした思いやアクシデントに対する不安や想像など保育中に感じた思いや気持ち、考えを自由に記述するシートが用意されている。記録することによって保育者自身の保育の振り返りにつなげることが出でき、保育実践振り返りチェックシートを補完する役割を果たしている。内容については必要に応じて職員間で話し合ったり上司のアドバイスもあるが、あくまでも保育者個人の保育の反省として役立てている。
3	タイトル	自然遊びの保育力をの向上を目指して「自然遊びファイル」を作成し、自然の感触や匂い、色などに対して子どもの姿を撮影している
	内容	季節の変化を感じ自然物に触れながらその場で作品に仕上げて持ち帰るなどの活動をクラスごと取り組み子どもの姿や表情、感覚、行動などを撮影し記録することで保育力の向上に努めている。葉っぱの匂いや、氷や水、土の感触を子ども自身が直に触ったり嗅いだりしながら全身で自然に触れる姿を写真に撮ることで子どもの成長や発達の姿をクラス間で考察している。各クラスで1年間の季節の変化を様々な角度から捉え子どもがどのように感じ関わっているかを考察し発表している。子どもの成長の変化を捉えることで環境設定や保育内容の向上につなげている。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	防犯と危機管理の園内研修を通じた安心・安全面での取組が実践されているが、リスクマネジメントの意図を共有することに期待したい
	内容	園の安心・安全面の強化については、避難訓練を毎月実施及び、事故防止のためのヒヤリハットに取り組んでいる。一方、リスクの概念として、職員や保護者、地域に関することも意識を持つことが重要となる。マネジメントの意図は、組織内のリスクを適正、円滑に管理することとなるため、影響の少ないリスクは、何も対策を講じないという観点も含まれる。また、防げない災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備えた事業継続計画は策定されているが、シミュレーション訓練の実施から事業継続計画のレベルUPに期待したい。

2	タイトル	今年度取組む事業計画が明らかになっているが、中期の事業推進も視野に入れた中期計画の策定に期待したい
	内容	園の理念の具現化に向けた計画について、毎年ローリングしていく年間計画を保育・教育を中心に策定しているが、長期的な視点による経営面の目標設定にやや抽象的な課題が見られた。園の経営ビジョンの実現のための道筋を明らかにした中・長期事業計画の策定が望まれる。例えば少子高齢化や5類による地域活動やICT化によるコストパフォーマンスの向上など数年先を見据えた段階的な取組が期待される。事業の着実な推進に向け期限付きの計画を定め、PDCAによる評価反省と年間総括を策定しながら、職員と保護者の理解と協力が園の将来像を創造していく取組に期待したい。
3	タイトル	当園は2歳児クラスまでで全ての子どもの個人別指導計画が作成されているが成長の目安やねらいについて保護者との文書での確認を望みたい
	内容	当園は2歳児までの小規模保育園のため全ての子どもの個人別指導計画が作成されている。送迎時の保護者とのコミュニケーションや個人面談では丁寧に子どもの様子については確認されいる。保護者も連絡ノートで子どもの姿や保育については理解が得られている。個人別指導計画における一人一人の成長・発達のねらいや目安について期あるいは月ごとに保護者と文書による確認ができることを期待する。子どもの成長の姿を保護者も確認し理解することで保育園と一緒になってその子の発達のねらいに向けて共に子育てができることが望まれる。